


ここは性犯罪者治療院の特別ルーム。
所長であるリサの他に、許可された人間しか入ることはできない。



リサ様……こ、このたびは……私のような男のために……えっと……その……時間を作って頂きありがとうございます。私
はミツルと申します。本日は……えっと……お手柔らかに……どうぞよろしくお願いいたします。


ふーん……お前が例の借金男ね。S Mプレイをするわけじゃないのだから……
そんな挨拶は不要よ。これから行うのは一方的な審査なんだから。






ミツルと名乗る男は人としての尊厳を捨て頭を垂れて深々と挨拶をした。
彼には膨大な借金があり今日はそのことでのこの場所に来ていた。

彼女のお眼鏡に叶うことができれば一晩で借金はチャラになる。
そういう話を聞いて彼は藁にすがる気持ちでやってきたのだ。




しかし、彼にはここで何が行われるかは事前に知ることはできなかつた。
そして入室し威圧的な女性を目の前にしたら体が自然とこのポーズになっていたのだ。

下半身を堂々と露出した女性から、ただならぬ雰囲気を感じる。
彼はこれから想像を遥かに超える審査を受けることになる。



まずは…何をしたらよろしいでしょうか？…このようなことは初めてで…何もわからないのです。失礼だとは思いますが、ご指示していただければ何でも致します。

うふふ♡初々しいわね。その姿勢は素敵だけど…本当になんでもできるかな？
まずはお顔を上げなさい。隅々まで審査してあげるわ。

A woman with long black hair, wearing a black strapless corset with buttons down the front and black garter stockings with sheer brown fishnet stockings, stands in a tiled room. She is looking down at a man who is kneeling on the floor, facing away from her. The man is wearing dark blue briefs. The room has grey tiled floors and walls with recessed lighting.

はい…！えつと…よ…よろしくお願いします。
私の特技は…えつと…えー…

ふふ♡そういうのはいいから。とりあえず黙りなさい。
喋ることもこれからは私の許可が必要よ。顔をよく見せて。

はいつ…
（怖い…何が始まるんだろう…）


ふーん…いい顔をしているね。これは有望だわ。
もう一度ひざまずいて。額を床に擦り付けなさい。



A woman in a black mesh bodysuit and stockings stands over a man lying on the floor. The woman is looking down at the man. The man is wearing a black collar and has his head resting on the floor. The background is a dark, tiled wall with some vents.

よいしょ…うん。頭もいい形だね。今のところは合格よ。
それじゃ今日の流れの説明と、本格的な審査に移りましょうね。

頭を踏まれるなんて……
屈辱だ…クソ……………

A woman with long black hair, wearing a black mesh tube top and a black mesh skirt, is sitting on the back of a man. The man is crawling on a light-colored tiled floor, looking back over his shoulder with a pained expression. The woman has her hand on the man's head. The background is a dark, textured wall with recessed lighting.

ミツルの背中の上に当たり前のように座るリサ。彼女の体重は百キログラム近くある。突然の出来事に彼は驚き潰れそうになりながら小さい悲鳴をあげた。



お前の背中はやよつと小さすぎるわ。これじゃ椅子としては使えないわね。：そうそう今日の流れだったわね。審査は大きく分けて四個。椅子、舌奉仕、便器、実験よ。一つずつ試してあげるからね。わかった？

えっ…あっ…はい。どれも…聞いたことがない審査ですが…えっと…どうしたら…
…ぐっ…重い…です…苦しい…早く…どいてください…。

A woman with long black hair, wearing a black mesh strapless top and a matching skirt, is sitting on a man lying on the floor. She has her hand on his head. The man has dark hair and is looking up at her with a pained expression. The background shows a modern interior with a staircase railing.

あら：私に反抗するの？お前が苦しいからって、私がどいてあげるわけないでしょ？
それに苦しいというのはこういうことを言うんじゃないかな。背中に座られただけで苦しいわけないでしょ？

ひっ…すみません！…ぐっ…苦しい…や…やめ…うっ…
(体が…痛い！苦しい…怖い…助けて…早く…終わって…くれ…)

A woman with long black hair, wearing a black mesh strapless top and a matching skirt, is sitting on a man lying on the floor. She is smiling and looking towards the camera. The man has dark hair and is looking up at her. The scene is set in a modern, brightly lit room with a tiled floor and a staircase in the background.

それじゃ：最初の椅子の審査：いえ、人間椅子の審査から始めましょう。
どいてあげるから、足を伸ばして床に座ってごらんなさい。うふふ♡

は…はい…
(人間椅子…？これが椅子じゃないのか？)



ミツルは恐怖していた。暴力的すぎる体重。人間椅子という恐ろしい言葉。そして容赦のないリサの態度。全てがこれから始まることの不安事項だった。

A woman with long black hair is sitting on a chair, wearing a black mesh corset and black mesh stockings. She is looking directly at the camera with a slight smile. The background is a simple, light-colored wall with some dark structural elements.

人間椅子はね、私の汚いオマンコやお尻の穴をお前の顔で受け止めて、舌を使って綺麗に掃除をしながら私がリラックスできるように務める仕事よ。

A woman with long black hair is sitting on a gym machine. She is wearing a black mesh corset with a lace-up front and black mesh stockings. Her skin is glistening with oil. She is looking directly at the camera with a slight smile.

まずはそのキレイな顔をグチヨグチヨにしてあげる。
あれれ：どうしたの？泣いているの？嬉し泣きよね？

A woman with long black hair is sitting on a gym machine. She is wearing a black mesh corset with a lace-up front and black mesh stockings. Her skin is glistening with oil. She is looking directly at the camera with a slight smile. The background is a gym setting with various pieces of equipment.

ほら、お顔を上げて。椅子ってわかるよね？
私が良いと言うまではそのままよ。



キツイ匂いがあるでしょう？今日のために準備しておいたんだ。
汗とおしっこオリモノが混ざって、いい感じに熟成されているはずよ♡



まずは舐めずに私の匂いを堪能しなさい。鼻から息を吸い込みなさい。
ほらほら深呼吸よ。息を止めちゃダメ。まだ難しいことは要求してないでしょう？

ちよつと：顔を背けようとしちゃダメよ。私が押さえつけないと嗅げないの？
こんな簡単なこともできないようじゃ、どうにもならないわね。

うぶぶ……むー……
(うわっ……ねちよねちよする……)



臭いでしょう？こうやって女性の股を擦り付けられるのは初めてかしら？
ちゃんと自らの意志でここに顔を擦り付けなさい。もちろん匂いを嗅ぎながらね。

むー…！うっ…うぶぶ…
（ダメだ臭すぎる…おえっ…）

それじゃ：：そろそろ椅子としても能力も試させてもらおうわよ。
少しずつ体重をかけていくから私に潰されないように踏ん張るのよ。

うっ：：うう：：……
(こんな重そうな人：：無理だよ：：)



私の体重は九十キロ近くあるけど大丈夫よね？
もし粗相をしたら厳しいお仕置きが待っているからね。

うぶぶ……ぶぶっ！
(無理……そんなの無理だよっ……！)



よいしょ…おっ…わりと頑張るね♡その調子よ。
これはお仕置きどころか、ご褒美をあげないといけなにかしらね。

むぐぐ…
(首が…折れそう…うっ…)



小男の癖によく耐えるじゃないか。それじゃとっておきのご褒美をあげようね。
本来はこんな早く与えるつもりじゃなかったんだけど…何かわかるかい？

ううっ…ぶぶ……うううう！
(ご褒美？わからない…早く…立って…くれ…)

花 赤

花 赤







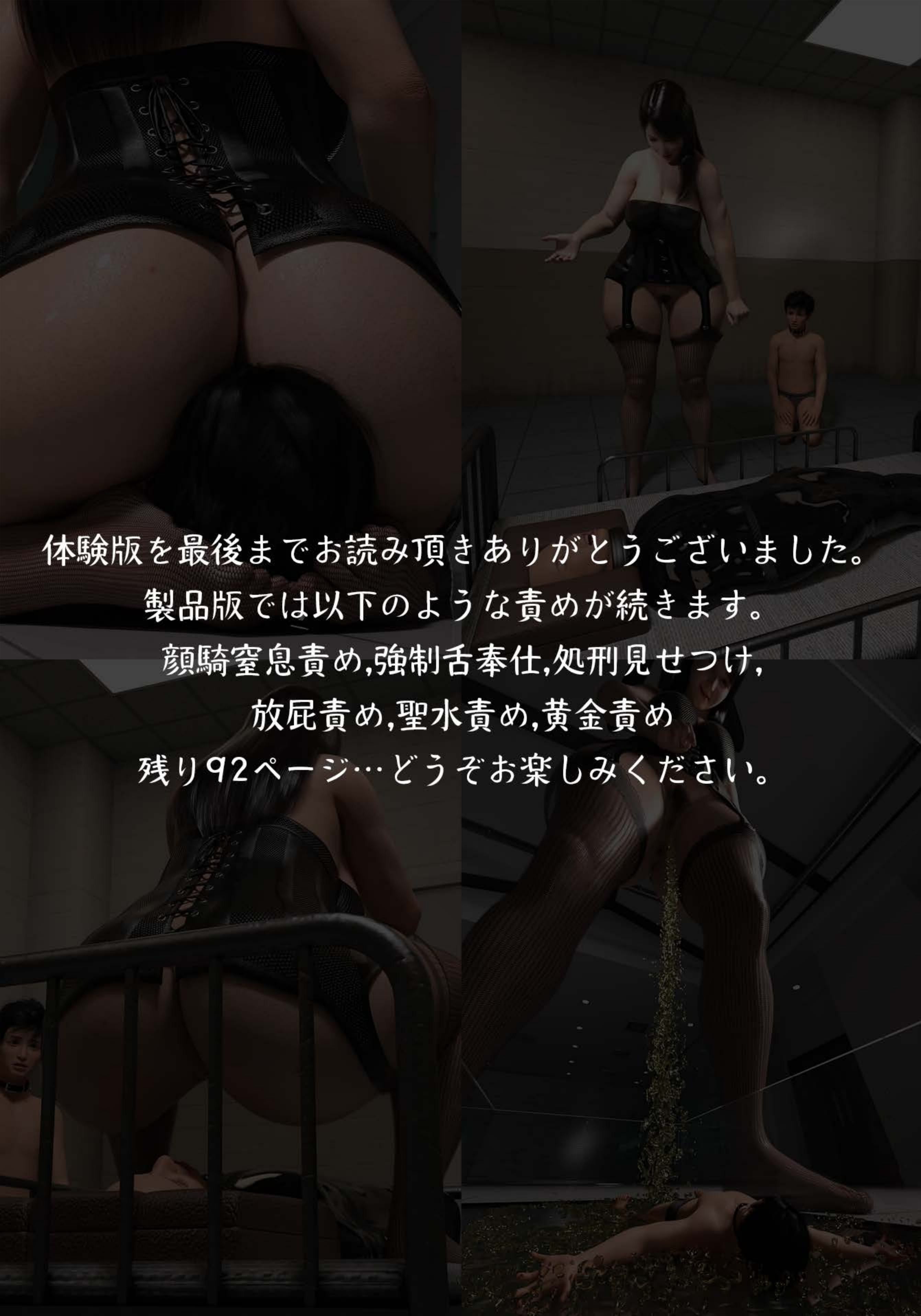
……危なかったわ！急に転がるなんて何を考えられているの？
私が怪我をするところだったのよ？せっかくご褒美を与えたというのに……！

痛い！顔が潰れる……！！
死んじゃう！助けて……！！



あら…ちよどいい場所に足があるわ。それならこのままお仕置きをしましよわね。
私のお尻の下で深く反省をすると良いわ。

うっ…痛い！やめて！！
死んじゃう！助けて！！



体験版を最後までお読み頂きありがとうございました。

製品版では以下のような責めが続きます。

顔騎窒息責め,強制舌奉仕,処刑見せつけ,

放屁責め,聖水責め,黄金責め

残り92ページ…どうぞお楽しみください。